



P16

15 【特集】声をあげた若者たち

16 対談 能條桃子×中村眞大
社会を変えるには
若者の主体性発揮できる環境を



P22

20 「若者気候訴訟」原告
角谷樹環 ●中村眞大

22 「ジェノサイドに抗する防衛大学校卒業生の会」呼びかけ人
平山貴盛 ●平畑玄洋

24 日米地位協定改正を求める「What is SOFA?」代表
崎浜空音 ●中村眞大



P26

26 SRHR（性と生殖に関する健康と権利）実現を目指す
「#なんでないのプロジェクト」代表
福田和子 ●岩崎眞美子

28 「地方女子プロジェクト」代表
山本 蓮 ●平畑玄洋



P30

どうする日本政治 多党化時代を問う

30 日本政治の方向性——迫られる体制選択
高市に新しい戦前を始めさせるのか
戦後民主主義を持続するのか ●山口二郎



P36

34 米国がベネズエラを大規模攻撃、大統領を拘束
国際法の根拠を欠く暴挙 ●東野篤子

36 強権振りかざすトランプ政権 司法省を「武器化」して政敵に報復
権力の私物化が招く司法の危機 ●矢部 武



P42

42 「菊池事件」再審の可否、1月28日決定へ
閉ざされた再審の扉 死刑執行後に開くか
●写真・文／高波 淳

6 きんようアンテナ
防衛省、宇宙関連事業落札結果の前日誤公表で市況にも波紋
●田代秀都
原子力規制委、中部電力の浜岡原発不正を「暴挙」と批判
●まさのあつこ
住宅関連会社の粉飾決算、差し戻し審で逆転判決、無罪確定
●栗野仁雄
さいたま地裁、被差別部落さらすネット記事削除命じる判決
●平野次郎

12 凱風快晴ときどき曇り 特別編
トランプと習近平 ●内田 樹

40 【提携連載企画】
クボタ・アスベスト公害の弁護士らで弁護団結成
ダイキンPFAS汚染で住民800人超が
公害調停を申し立て ●Tansa 中川七海

48 2026年 日本と世界の主なスケジュール
●先川信一郎

50 「金曜日」で逢いましょう 李 誠 雅さん ●洪 愛 舜

51 メディアウオッチ
高市首相の「会見」は質問1問が目立つ
首相発言のみで記者の質問がない時も
なぜ質問・追問をしないのか ●南 彰

くらしの泉

38 【食】
「農業人口激減」という事実を前に
食の安定は図れるのか ●垣田達哉

きんようぶんか

52 現代美術家 山岡瑞子の「救出」と「解放」
大混乱に終わりは来たのか？
●桑原和久

54 【本】
『野蛮な時代』 ●文 聖 姫
『性差別大国・日本 私のフェミニズムの旅から』 ●田沢竜次
『「酔っぱらい」たちの日本近代 酒とアルコールの社会史』
●鈴木淳一

56 【映画】『アバウトアス・バット・ノット・アバウトアス』 ●佐々木誠

【音楽】『MAGIC TIME』 ●近藤康太郎

57 【美術】『アンチ・アクション 彼女たち、
それぞれの応答と挑戦』 ●薄井崇友
【TVドキュメンタリー】 ●ワタナベ = アキラ

今週の表紙



能條桃子さん（27歳）は20歳の頃から社会運動を始め、政治分野でのジェンダー平等などに取り組む。2023年の統一地方選では女性候補者29人を支援し、うち24人が当選。次の27年に向けて100人の候補者集めに奔走する。（提供／能條桃子）

3 風速計
「女性が増えて若返る」
困窮者支援の光景
●雨宮処凛

- 2 それでもそれでもそれでも (666) ●齋藤陽道
- 10 さらん日記
- 11 政治時評 ●三牧聖子
- 14 経済私考 ●佐々木実
- 46 犬が王様を見て、何が悪い？ (132) ●四方田犬彦
- 47 松崎菊也 あの人の独り言 (77)
絵空事／石倉ちよつき
- 62 リトルてんちゃん (4) ●イシズマサシ
- 63 編集委員から
- 64 読者会から
- 65 きんようびのはらっぱで (情報欄)
- 66 金曜日から
- 67 猫様 (137) ●想田和弘

58 言葉の広場
高市政権の尻馬には乗らない ●吉成 修
ハルウララのように「あきらめない1年」に ●宮本 徹
フェアトレードって何ですか？ ●見上喜美江
私は本を出したい ●李 淳 明
今こそ凝視を、日本とアジアの近現代史 ●山下宏明
「そんなこと」が日本の凋落の原因 ●後藤茂昭
戦場最前線に出る覚悟 ●浜本 裕
年賀状じまい ●細江隆一
金曜川柳 ●雪女、島尻 卓、フクスケ
寺島裕之、津々木勇
12月の最優秀作品 ●成田 強
イラストレーション ●ゴールデンパンダ

61 論考
「誰でもできる」仕事という嘘
●木村邦彦